

令和3年11月24日

報道関係 各位

名古屋市立大学大学管理部事務局学生課  
主幹 成瀬 陽子 052(872)5041

**鳴り響け、名市大の開学70年！  
名古屋市立大学開学70周年記念コンサートを開催しました！**

令和3年11月21日（日）愛知県芸術劇場コンサートホールで、名古屋市立大学開学70周年記念コンサートを開催しました。

名古屋市立大学は、1950年（昭和25年）に医学部と薬学部からなる大学として創設され、その後、7学部7研究科と3大学病院を有する総合大学へ発展を遂げましたが、昨年70周年を迎えました。本コンサートは、その記念事業のひとつとして、昨年開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、延期を余儀なくされていたものです。

本コンサート開催のため、オーケストラは名古屋市立大学管弦楽団およびOB管弦楽団から希望者を募り、合唱団は名古屋市立大学教職員の呼びかけにより結成しました。新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発令されるなど、集合しての練習がままならない中、合唱については動画指導も活用して、一生懸命、各メンバーが練習を重ねました。感染拡大が落ち着いてからは、数少ないながらも集合練習をすることができ、指揮者の熱心な指導で結束を高め、本番を迎えることができました。

本番では、オーケストラと合唱団がプロのソリストとともに、コロナ禍のトンネルを抜け新しい時代の幕開けになると信じて、ベートーヴェン「第九」の演奏を響かせました。新型コロナウイルス感染症対策の上、収容人数を約50%に抑えた開催にはなりましたが、素晴らしい演奏と歌声に、オーケストラ、合唱団そして観客が一体となり約900名が感動を分かち合いました。

(演奏曲目) ベートーヴェン交響曲第9番ニ短調 作品125「合唱付き」  
ショスタコーヴィチ「祝典序曲」

(指揮者) 海老原 光

(ソリスト) ソプラノ 百々 あずさ                      メゾソプラノ 鳥木 弥生  
テノール 村上 敏明                                  バス 伊藤 貴之

(演奏者) 名市大開学70周年記念管弦楽団

〈名古屋市立大学の現役管弦楽団及びOB管弦楽団の有志により構成〉

名市大開学70周年記念合唱団

〈名古屋市立大学の教職員の呼びかけにより結成〉

ベートーヴェン第九の演奏風景

